



令和7年1月20日発行

学校だより

第14号

江戸川区立松江第三中学校

〈 教育 目 標 〉

- 1 素直で明るい、心豊かな生徒を育てる
- 2 自ら進んで、よく学びよく働く生徒を育てる
- 3 責任を重んじ、正義と規律を尊ぶ生徒を育てる

～ 本番までの心がけ ～

校長 小澤 託

いつもの駅、朝の通勤時間に改札近くに見慣れない方が数名立っていました。

すると、改札に向かう学生に向かって、“頑張ってきてね” “緊張しないで、いつも通りね”と声をかけており、声をかけられた学生さんも“はい、頑張ります”と応えていました。電車の中でも、いつもの車両では見かけない学生やその保護者と思われる方が、受験会場に向かうのか、小声で話をしている姿を見かけました…。

いよいよ始まりましたね。本格的な受験シーズンの到来です。

受験と言っても、小・中・高・大と様々な年代の方が受ける試験がありますし、受験する人数だって違います。しかし、共通しているのは、自らの意志で次のステージを切り拓くための大切な試験ということです。重要な試験であることに変わりはありません。とりわけ、高校受験に関しては、義務教育を終え、否応なしに自らの意志で次のステージに向かわせられる試験(微妙な表現ですみません)なので、「15の春」とか「人生最初の壁」などと取り上げられることが多いです。少子化の影響もあり、今や大学は全入の時代に突入したとも言われておりますが、人気がある大学の倍率が下がったという話を聞いたことはありません…。

さて、受験の時期で大切になってくるのは、体調の管理だと私は思っています。

特に、寒さの厳しくなるこの時期は、冷たい風や地面から体に伝わってくる冷えへの対策が大切です。

よく「3つの首を冷やすな」と言いますよね。何のことか分かりますか？

首・手首・足首のことです。この3つの首に共通しているのは、その3つの部位のまわりの皮膚が薄く、その皮膚の近くを太い血管が通っているという点です。血管を通る血液も外気の影響を受けてしまうので、冷たくなった血液が全身に流れれば、体全体が冷えを感じてしまうという流れになります。逆にその部位をしっかりと温めていけば、温かい血液が全身をめぐるので、体も温まっていくことになります。ハイネックや袖の長めの服が冬場に好まれるのは、そういうことも一因なのかもしれません。

ぜひ、3つの首を冷やさないよう、防寒対策をしっかり行い、

体を温めることを意識していきましょう。

受験を迎える3年生だけではなく、1,2年生も自らの健康を維持するために、登下校の際は、マフラーや手袋などで防寒対策をしっかり行いましょう。もちろん、日々の手洗いやうがいの励行や換気なども継続して行うことが大切です。

体調管理は、日々の生活と心がけ次第です！！

【忘れてはいけない“大人の心得”】

初めて担任をもった時に、感銘を受けた“ある詩”を紹介します。つい先日、尊敬する先輩と久しぶりに連絡を取り合った際にも、紹介されました。保護者の皆様も、時には声を出して読んでみませんか。

「子どもは大人の鏡」

子どもは、批判されて育つと 人を責めることを学ぶ

子どもは、憎しみの中で育つと 人と争うことを学ぶ

子どもは、恐怖の中で育つと オドオドした小心者になる

子どもは、憐れみを受けて育つと 自分を可哀相だと思ようになる

子どもは、馬鹿にされて育つと 自分を表現できなくなる

子どもは、嫉妬の中で育つと 人をねたむようになる

子どもは、ひげめを感じながら育つと 罪悪感を持つようになる

子どもは、辛抱強さを見て育つと 耐えることを学ぶ

子どもは、正直さと公平さを見て育つと 真実と正義を学ぶ

子どもは、励まされて育つと 自信を持つようになる

子どもは、ほめられて育つと 人に感謝するようになる

子どもは、存在を認められて育つと 自分が好きになる

子どもは、努力を認められて育つと 目標を持つようになる

子どもは、皆で分けあうのを見て育つと 人に分け与えるようになる

子どもは、静かな落ち着きの中で育つと 平和な心を持つようになる

子どもは、安心感を与えられて育つと 自分や人を信じるようになる

子どもは、親しみに満ちた雰囲気の中で育つと 生きることが楽しいことだと知る

子どもは、まわりから受け入れられて育つと 世界中が愛であふれていることを知る

あなたの子どもたちはどんな環境で育っていますか？

ドロシー・L・ノルテ

<生徒の活躍>

令和6年度第58回東京都中学生アンアンプルコンテスト 銀賞受賞

(令和7年1月11日 武蔵野音大にて)

～保護者・地域の皆様へ～

1月18日(土)は、学校公開となる土曜授業でした。3時間目は、全ての学級が道徳の授業を行い、その後授業に関する協議会を行う公開講座の1日となりました。多くの保護者にご参観いただき、授業や生徒の様子を確認いただきました。保護者の皆さんから見て、学級・学年・学校の様子は、どのように見えたでしょうか？4月から比べて、成長を感じる部分や物足りないと思う部分等、様々感じる所があったと思います。お時間がありましたら、そんな“ちょっとした感想”や“何となく思った感想”を本校の教員に伝えていただければ、うれしいです。そういう声や思いを受け止め、活かしていくことが大切だと思っております。よろしくお願いたします。